

うであったかを話し合う場をあらかじめ決めておくと、保護者は安心します。

## 2. 「保護者相談の7ステップ」を生かした相談例

では、「保護者相談の7ステップ」を意識した相談例を見てみましょう。青山先生とあきら君の母親との2度目の相談場面です。

青山 お母さん、お忙しいところをお越しいただいてありがとうございます。

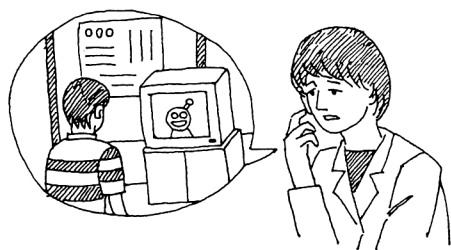
母親 こちらこそ、先日はお世話になりました。

青山 あきら君は、給食当番のときおかずを上手に分けていましたよ。家庭での最近の様子はいかがですか。

母親 それが、ちっともよくなるのではありません。きのうも、……………。

母親は、しばらく愚痴をこぼしました。青山先生は、母親の話を頷きながら聞いていました。

(※ステップ1 合わせる)



ころ合いを見計らって、青山先生は、口を開きました。

青山 あきら君のことを一生懸命に考えているのですね。ところで、お母さんは一番何を問題だとお感じですか。

(※ステップ2 ニーズを確認する)

母親は、一瞬話を止めて考えました。

母親 そうですね。あきらのだらしないうちでしようか。

青山 だらしないうちという、具体的にはどんな行動でしょう。

母親 宿題もやらずに、テレビばかり見ているのです。宿題をやらないで寝てしまうこともしばしばです。それに、朝、起きるのも遅くて、何度声をかけても起きなくて困ってしまいます。

青山 お母さん、1つにしばって話をしてみましようか。お母さんとしては、どちらがお困りですか。

母親 言われないと宿題をやらないことです。

青山 なるほど。宿題のことであきら君の行動がどうなればいいですか。

(※ステップ3 ゴールを確認する)

母親 ぐずぐずしないでやってほしいけれども。

青山 ぐずぐずしないという、具体的には。

母親 帰ったらすぐに宿題を終わらせるといいですね。

青山 帰ってすぐに宿題を終わらせることが目標ですね。

母親 私の育て方が悪いばかりに、ぐずぐずした子になってしまって……。先生にもご迷惑をおかけしてしまって申し訳ありません。

青山 ご家族は原因ではありません。

(※ステップ4 保護者を支える)

その時々であきら君の幸せを願って子育てをしてきたのでしょう。宿題は、学校の問題でもある訳ですから、あきら君にとってよい方法を一緒に考えましょう。

母親 ありがとうございます。そう言ってもらえると、なんだかほっとします。

青山 ところで、あきら君のよさって何でしょうね。

(※ステップ5 リソースを見つける)